



市の川紀 都市計画 マスタープラン

令和8年9月

目 次

序章	1
1 見直しの背景	1
2 策定方針	1
3 目標年次	1
第1章 紀の川市の現状	2
1 人口	2
(1) 人口推移	2
(2) 人口構成比	7
(3) 人口密度	8
2 土地利用	12
(1) 土地利用分布	12
(2) 新築動向	16
(3) 空き家の現状	17
(4) 用途地域・特定用途制限地域	18
3 産業	20
(1) 産業構造	20
(2) 通勤・通学人口	22
(3) 工業	24
(4) 商業	25
(5) 農業	27
4 道路・交通	29
5 公共公益施設	35
6 上水道・下水道	36
7 災害	39
(1) 洪水・浸水害	39
(2) 土砂災害	41
(3) 地震	42
第2章 全体構想	43
1 都市計画の基本理念	43
(1) まちの将来像	43
(2) 将来の都市構造を構成する要素	44
(3) 将来都市構造図	46
2 課題と対応方針	47
3 分野別の方針	52
(1) 土地利用に関する方針<関連する対応方針1・2・3・4>	52
(2) 都市施設の整備に関する方針<関連する対応方針1・2・4・5>	56
(3) 市街地整備等に関する方針<関連する対応方針1・2・3・4>	65
(4) 都市防災等の方針<関連する対応方針1・2・3・4・5>	67



第3章 地域別構想	69
1 地域別構想の役割と地域区分の設定	69
(1) 地域別構想の役割	69
(2) 地域区分の設定	69
2 打田地域	70
(1) 歴史的背景	70
(2) 現状	71
(3) 都市構造上の課題	78
(4) 分野別の方針	79
3 粉河地域	84
(1) 歴史的背景	84
(2) 現状	85
(3) 都市構造上の課題	92
(4) 分野別の方針	93
4 那賀地域	98
(1) 歴史的背景	98
(2) 現状	99
(3) 都市構造上の課題	106
(4) 分野別の方針	107
5 桃山地域	111
(1) 歴史的背景	111
(2) 現状	112
(3) 都市構造上の課題	119
(4) 分野別の方針	120
6 貴志川地域	124
(1) 歴史的背景	124
(2) 現状	125
(3) 都市構造上の課題	131
(4) 分野別の方針	131
第4章 実現化の方策	136
1 実現化の基本的な考え方	136
2 横断的な連携の推進の考え方	136
(1) 協働による都市づくりの推進	136
(2) 情報発信と合意形成の推進	137
(3) 横断的・広域的な連携の強化	137
3 進行管理と見直し（PDCA）	138



紀の川市都市計画マスタープラン

※アンケートについて

本文中のアンケート結果は、毎年実施している「紀の川市市民意識調査」結果と、令和 6 年度に実施した「中学生アンケート（市内の中学 2 年生が対象）」及び「高校生アンケート（市内の高校 2 年生が対象）」結果を示しています。

【中学生・高校生アンケート実施概要】

- ◆実施日：令和 6 年 11 月 15 日（金）～令和 6 年 11 月 29 日（金）
- ◆回収数：中学生 405 人、高校生 185 人 ※ホームルームにて実施

※ワークショップについて

本文中のワークショップ結果は、令和 7 年度に実施した「職員地域別ワークショップ」結果を示しています。

【ワークショップ実施概要】

- ◆実施日：令和 7 年 10 月 27 日（月）
- ◆場所：紀の川市役所
- ◆参加者：25 人

※語尾表現について

当計画は、紀の川市が作成していますが、内容については、民間が主体となって進めていくべき事項も記述しています。このため、本計画の語尾は、「誰が主体となって実現していくのか」また、「どれぐらい実現に向け進んでいるのか」がわかるように概ね以下のように表現しています。

実現に向けての進捗状況	主体	
	市	民間
すでに実現しているもの	～行っていきます。	～促します。
今後、確実に実現していくもの	～推進します。 ～を図ります。	～促します。
実現に向け、今後調整を図っていくもの	～に努めます。	～促します。
県・市・民間が互いに協力しながら実現していくもの	～に努めます。 ～を進めます。	～に努めます。 ～を進めます。

※文中の（都）は都市計画道路、（主）は主要県道、（一）は一般県道を表します。

